

平成30年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主 な 経 歴	住 所	功 績 の 概 要
教育 行政	ふちもと こうじ 淵本 幸嗣 (男) (60歳)	福井市至民中学校長(H25.4～H27.3) 県教育庁企画幹(義務教育)(H27.4～H30.3)	永平寺町	<p>永年にわたり、学校教育および教育行政の職務に精励し、常に教育課題と向き合い、実践的指導力を発揮して、その充実・発展に尽力した。</p> <p>教諭時代は、子どもの問いを大切にした授業づくりに取り組むとともに、平成25、26年度は県中教研社会科部長として若手教員の育成に努めるなど、県の社会科教育をリードした。</p> <p>平成11年度からは県教育庁の学校教育課、義務教育課にて指導主事として尽力。平成22年からは学校教育振興課、学校教育政策課の参事として、教職員の適正な人事配置等の実現に尽力した。</p> <p>平成25年度からは、中学校長としてリーダーシップを発揮し、組織的な生徒指導によって地域とともに発展する学校づくりの成果は、地域住民からの信頼を得るとともに、県内外の教育関係者から注目された。</p> <p>平成27年度からは県教育庁企画幹(義務教育)として、福井県全体の義務教育をけん引し、本県の学校教育の発展に大きく貢献した。</p>
	ふるた こうし 古田 幸志 (男) (61歳)	小浜市立小浜中学校長(H26.4～H28.3) 県教育庁嶺南教育事務所長(H28.4～H30.3)	小浜市	<p>永年にわたり、学校教育や教育行政において幅広い分野で指導力を発揮し功績を残した。</p> <p>教諭時代は、中学校で社会科指導や進路指導、小学校でふるさと学習の推進に尽力した。また、卓球部活動指導では、全国大会への出場する等競技力の向上と生徒の健全育成に努めた。</p> <p>教育行政においては、平成11年度から7年間、教育庁嶺南教育事務所指導主事として、生徒指導および教科指導において的確で具体的な指導を行った。また、平成24年度から2年間、小浜市教育委員会事務局主幹として教職員の服務、人事や教育関連事業の推進業務にあたった。</p> <p>平成26年度からの2年間は中学校長として、職員とともに学校作りに取り組み、その誠実で温かみのある学校経営は保護者や職員から信頼され、地域住民から高い評価を得た。</p> <p>平成28年度から2年間は教育庁嶺南教育事務所長として、広い視野で県および嶺南地区の教育の充実に寄与した。</p>
	みやざき よしゆき 宮崎 義幸 (男) (66歳)	永平寺町上志比小学校長(H17.4～H20.3) 県教育庁スポーツ保健課参事(H20.4～H22.3) 永平寺町永平寺中学校長(H22.4～H25.3) 永平寺町教育委員会教育長(H25.4～H30.3)	永平寺町	<p>永年にわたり、学校体育や社会体育に大きく貢献した。</p> <p>大納小学校では「保健体育研究推進校」、永平寺中学校では「格技指導推進校」の指定を受け、ともに体育主任として研究の中心で取り組んだ。特に永平寺中学校で実践した「校門での礼」や「黙想」「無言清掃」は今でも受け継がれている。</p> <p>教育行政では、派遣スポーツ主事を5年間、指導主事を県、市含めて9年間、県教育庁スポーツ課参事を2年間務め、学校体育、学校保健等における行政推進および指導に尽力した。</p> <p>平成22年度から24年度にかけて、中学校長として、総合型地域スポーツクラブ「永平寺スポーツクラブ」の設立に尽力し、中学校の部活動と地域スポーツ、スポーツ少年団との連携による地域おこしに尽力した。</p> <p>平成25年度からは、永平寺町教育長として5年間、永平寺町の伝統ある「礼の心」を重んじた道徳教育を永平寺町学校教育方針に掲げ永平寺町の教育推進に尽力した。</p>
学校 教育 (小学校)	えんどう ようこ 遠藤 洋子 女 (61歳)	大野市小山小学校長(H24.4～H26.3) 大野市有終南小学校長(H26.4～H30.3)	大野市	<p>永年にわたり小学校の国語教育の発展に取り組み、学校図書館教育の充実に努め、本が大好きな子どもの育成に努力した。</p> <p>平成24年度からは小学校長として、授業力を高めるための教員の資質向上を目指し、外部講師の招聘や校内研修などを積極的に進め、教員の力量アップにリーダーシップを発揮した。</p> <p>NIEにも取り組み、平成28年に日本新聞協会より学校奨励賞を受けた。学校経営の柱の一つに学校保健を位置づけ、う歯治癒率のアップや給食後の一斉歯磨き・ビジョントレーニングに全校体制で取り組み、学校保健の充実に図った。その結果、平成28年に福井県教育委員会より、有終南小学校が学校保健の優良校、平成29年に文部科学大臣表彰を受けた。</p> <p>平成28年には県特別支援学級設置学校長会副会長、平成29年には会長、平成28年、平成29年と連続して県特別支援教育連盟副会長の重責を果たし、県内の特別支援教育の体制整備と充実発展に寄与した。</p>
	かめたに りょうじ 亀谷 良治 (男) (61歳)	大野市乾側小学校長(H24.4～H27.3) 大野市上庄小学校長(H27.4～H30.3)	大野市	<p>平成21年度から平成28年度の8年間、大野市学校教育研究会小学校理科部会長を務めるなどして、永年にわたり、小学校理科教育の研究推進に努力し、実験・観察を重視した授業づくりの実践研究に取り組んできた。特に、平成24・25年度には福井県小学校理科教育研究大会奥越大会実行委員長として、「共にかかわり合いながら、科学的に問題を解決する理科学習」の大会主題のもと、平成25年11月の奥越大会の開催に尽力し、大会を成功に導いた。</p> <p>平成24年度からは小学校長として、誠実で温かみのある指導力で、児童の育成と教職員の資質の向上を目指した学校運営を行った。</p> <p>平成27年度は大野市学校教育研究会副会長を、平成28年度は同会長を務め、教職員の自主研究の推進に貢献し、大野市の教育の充実・発展に寄与した。</p>

平成30年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主 な 経 歴	住 所	功 績 の 概 要	
学校教育 (小学校)	かわい やすえ 河合 恭江 (女) (61歳)	福井市和田小学校長(H25.4～H27.3) 福井市森田小学校長(H27.4～H30.3)	福井市	永年にわたり、学校教育および教育行政において職務に精励し、充実発展に大きく貢献した。特に、算数・数学科教育では、教材開発や指導方法の改善に積極的に取り組んだ。教育行政の分野においては、県教育研究所研究員としてコンピュータの教育利用推進について研究し、普及に努めた。また、県教育庁義務教育課主任として「全国学力・学習状況調査」の実施・結果分析を担当し、リーフレットや弱点克服教材、授業手引書等の作成にあたり、県内小中学生の学力向上に寄与した。 平成25年度からは、校長として教職員を指導しながら学校経営を推進し、「だれもが通いたくなる学校・信頼される学校」づくりにおいて大きな成果を上げた。 平成29年度は、県小学校教育研究会長、県女性校長・教頭会会長を務め、会の発展充実および見解の教育向上のために尽力した。	
	きしがみ まさきよ 岸上 昌清 (男) (61歳)	敦賀市立敦賀西小学校長(H24.4～H28.3) 敦賀市立中央小学校長(H28.4～H30.3)	敦賀市	永年にわたり、社会科教育に力を注ぎ、平成13年度から敦賀市社会科教科指導員として、市の社会科教育の充実と教員の指導力向上に寄与した。 平成5年度からは、福井県教育研究所若狭支所の研究員として、社会科教育、特別活動の研修講座の充実に尽力した。また、平成13年度からは、敦賀市教育委員会学校教育課指導主事として、教育行政の振興に尽力した。 平成24年度から小学校長として、児童一人一人の個性や能力を伸ばす学校経営を行い、リーダーシップを発揮した。 平成29年度には敦賀市小学校教育研究会会長として、地域の教育の充実に努めた。	
	こつじ ようぞう 小辻 洋三 (男) (61歳)	越前町立越前中学校長(H24.4～H26.3) 越前町立四ヶ浦小学校長(H26.4～H28.3) 越前町立宮崎小学校長(H28.4～H30.3)	越前町	永年にわたり、温厚な人格に加えて誠実な教育実践を続け、保健体育を中心とした学校教育の充実発展に大きな功績を残した。また、生徒指導の推進にも尽力し、児童生徒の望ましい人間関係づくりや自己指導能力の育成に熱意を持って取り組んできた。その堅実な指導力・実践力は高く評価されている。 平成9年度から平成11年度までの3年間は、派遣スポーツ主事として織田町教育委員会に勤務し、地域スポーツの普及拡大に貢献した。 平成24年度からは、校長として、誠実で温かみのある指導力で児童生徒の育成と教職員の資質向上に尽力した。 平成29年度は、丹生郡校長会長として、児童生徒の学力向上や郡内教員の資質向上、ミドルリーダーの育成に寄与した。 小・中・高に勤務経験があり、保小連携、小中連携、中高連携の推進に尽力し、福井型18年教育に大きく貢献した。	
	辻				
	さかい しげお 酒井 重夫 (男) (61歳)	あわら市伊井小学校長(H24.4～H27.3) 坂井市立三国北小学校長(H27.4～H30.3)	坂井市	永年にわたり、学校教育に力を注ぎ、特に社会科教育を中心に熱心に指導を実践し、地域の歴史を取り上げるなど教材化に努め、社会科教育の充実発展に貢献した。 平成4年度から8年間、県史編さん課、文書学事課企画主査として「福井県史」編さん事業ならびに県文書館建設準備に携わり、県の文化行政にも寄与した。 平成24年度からは小学校長として誠実な学校経営を行い、地域とともに歩みながらリーダーシップを発揮した。 平成29年度は、坂井市校長会長として坂井市の教育の充実・発展に寄与した。	
しんばし しげかず 真橋 成和 (男) (61歳)	坂井市立木部小学校長(H24.4～H27.3) あわら市金津小学校長(H27.4～H30.3)	坂井市	永年にわたり、学校教育に情熱を注ぎ、理科担当教師として研鑽に励むとともに職務に精励し、その充実発展に大きく貢献した。 平成5年度から3年間、インドネシア共和国の在外教育施設(メダン日本人学校)に赴任し、その経験を活かし、広い視野で学校教育の一層の充実に尽力した。更に、書道教育においても卓越した資質と熱心な研究実践を重ね、平成27年度には福井県書道教育研究大会坂井地区大会の実行委員長を務めるなど、本県書道教育の振興に大きく貢献してきた。 平成24年度からは小学校長として教職員を指導しながら、児童たちの良さを伸ばす学校運営を行い、学力向上においても大きな成果をあげた。 平成29年度には、坂井地区教育振興研究会副会長、坂井地区小学校長会長および坂井地区校長会副会長として地域の教育の充実・発展に努めた。		

平成30年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主 な 経 歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育（小学校）	せんだ たすく 千田 佐 (男) (61歳)	大野市上庄小学校長(H24.4～H27.3) 大野市有終西小学校長(H27.4～H30.3)	越前町	永年にわたり、小学校教育に情熱を注ぎ、「師弟同行」「率先垂範」をモットーに、その充実発展に貢献した。 平成23年度から使用する大野市の3、4年生用の社会科副読本「わたしたちの大野」の編集や「テスト集」の作成(平成24年度)、「指導案集」の編集(平成25年度)に大野市小学校社会科部会長として中心となって取り組んだ。 小学校長となった平成24年度には、大野市小学校体育振興連盟の会長を、その後2年間は副会長を4年間務め、市の体育活動の充実発展に積極的に尽力した。同じく、平成24年度全国NIE研究会での発表を機に、こどもこだま欄への投稿や校内放送でのNIEスピーチなど、日常的にNIE活動を行うとともに、スクラップ新聞コンテストや新聞スピーチコンテストなどを開催するなど、NIE教育にも尽力した。 平成28年度には中部地区小学校道德教育研究大会の会場校として、全学級で道德の授業を行い大会の成功に貢献した。
	ぜんだ しゅんいち 善田 俊一 (男) (61歳)	鯖江市豊小学校長(H24.4～H27.3) 鯖江市立待小学校長(H27.4～H30.3)	越前町	永年にわたり、温厚な人格に加えて誠実な教育実践を続け、特に中学校において数学科教育を中心に緻密かつ熱心な指導を実践し、探求の過程を大切にされた指導方法の工夫改善に取り組み、学校教育の充実・発展に貢献した。 県生涯学習センター勤務時には、社会教育と生涯学習の発展に寄与した。 平成24年度からは小学校長として、近接するこども園との連携に尽力し、望ましい保幼小接続のあり方の先行事例となった。 平成27年度からは鯖丹地区特別支援教育研究部長として、特別支援教育コーディネーターの専門性を高める研修を図ったり、地区内の特別支援教育の充実・発展に寄与したりした。
	たはら ひろし 田原 浩 (男) (60歳)	永平寺町志比北小学校長(H24.4～H26.3) 永平寺町志比小学校長(H26.4～H28.3) 永平寺町松岡小学校長(H28.4～H30.3)	永平寺町	永年にわたり、誠実な教育実践を続け、学校教育の充実発展に大きな功績を残した。特に、小学校・中学校・高等学校(全日制および定時制)・教育委員会と幅広く勤務し、小学校3年生～高校3年生まで担任する中で、児童・生徒の発達段階や教科の系統性を踏まえた授業実践を行ってきた。 部活動指導においてもミニバスケットボールやスキー部・山岳部・合唱部・バドミントン部・陸上部・マーチングバンド部・吹奏楽部等の顧問を歴任し、ほとんどの部活動において北信越大会や全国大会へと児童・生徒を導いた。 平成20年度からは、教頭・校長として吉田郡音楽研究部会長を勤め、永平寺町小中学校連合音楽会の計画立案や当日の運営、そして児童・生徒の音楽教育の向上に貢献した。 平成24年度からは小学校長として中学校校区の小学校と「小小連携」による合同学習を積極的に進め、仲間づくりや中1ギャップの解消など、小中連携の橋渡し役として貢献した。
	なかや さなえ 中屋 早苗 (女) (61歳)	あわら市吉崎小学校長(H25.4～H28.3) 坂井市立大関小学校長(H28.4～H30.3)	あわら市	永年にわたり、誠実な教育実践を続け、学校教育の充実・発展に大きな功績を残した。特に、国語教育では、新しい教育方法・教育評価を模索し、児童・生徒が主体となる授業づくりに取り組んできた。また、文章による「表現すること」の育成をめざして、一人一人の作文指導や県の作文審査等に永年関わってきた。また、アナウンス・朗読の指導を中心に、放送部指導を通じて「表現すること」の指導に当たってきた。 平成25年度からは小学校長として、これからの時代を生き抜く児童の育成と教職員の意識改革・資質向上に努めた。大関小学校では、校名の「大関」から大相撲の応援を通して、人を思いやる心豊かな児童の育成を目指し、地域とのつながりを深めるイベントを行った。また、毎月2回の学校便りの校区内全戸配布を続け、地域との連携を活かした教育に尽力した。 平成29年度は坂井市教育研究会会長として、各部会による自主的な教育研究の推進を指導した。
	ひらおか まさみ 平岡 正実 (男) (61歳)	南越前町立南条小学校長(H24.4～H27.3) 越前市花筐小学校長(H27.4～H30.3)	越前市	永年にわたり、学校教育および教育行政の職務に精励し、その充実・発展に貢献した。 在外教育施設派遣教員(チリ共和国サンチェゴ日本人学校教諭)として3年間、福井県教育庁学校教育課指導主事(南越地方教育委員会連絡協議会)として3年間、福井県教育庁学校教育振興課管理主事・同義務教育課主任として3年間、福井県教育庁義務教育課参事として2年間、学校教育の質の向上のため地域の課題を的確に分析・判断し、様々な施策を講じ、教育行政の推進役として優れた手腕を発揮した。 また、小学校長として保幼小中連携を推進するとともに、地域の教育力を生かして、ふるさとへの愛情を育てる様々な体験推進事業を推進した。 平成29年度には越前市の校長会長として市内小中学校の教育振興のため豊富な経験と深い思慮に基づいた学校経営モデルを示し、地域の教育振興に寄与した。

平成30年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主 な 経 歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育（小学校）	ますかど れいこ 増門 玲子 （女） （61歳）	敦賀市立敦賀北小学校長（H23.4～H28.3） 敦賀市立粟野南小学校長（H28.4～H30.3）	敦賀市	永年にわたり、確固たる信念のもと熱心で誠実な教育実践を続け、学校教育の充実発展に寄与した。国語教育を中心に教育実践を積み上げ、特に県国語教育研究大会、県図書館研究大会では、開催地である敦賀市において、実行委員の中心的な役割を果たすなど、敦賀市はもとより県全体の国語教育の充実・発展に尽力した。 平成23年度からは、校長として、誠実で温かみのある指導力で、児童の育成と教職員の資質向上に努めた。また、地域と共に歩む学校を掲げ、信頼ある学校経営を行った。 平成29年度は、敦賀市校長会長ならびに県小学校長会副会長として、敦賀市および県内全体の教育の充実発展に貢献した。
	よしだ たかし 吉田 高志 （男） （61歳）	福井市国見小学校長（H26.4～H28.3） 福井市松本小学校長（H28.4～H30.3）	福井市	永年にわたり、小学校教育一筋に教育実践に励み、その充実発展に尽力した。特に、視聴覚・ICT教育、社会科教育において、教材開発や指導法の改善に積極的に取り組み、教育の向上に大きく貢献した。教育へのコンピュータの活用から早くから取り組み、サーバーでの文書管理や、通知表や指導要録のデータ管理を進め、学校運営の効率化に力を発揮した。また、各教室のICT環境の整備と教員研修にも尽力した。 平成26年度からは小学校長として優れた指導力を発揮した。児童の特性や地域の特色を踏まえた積極的な学校経営に努め、地域づくりへの参画、特別支援教育の充実などにおいて大きな成果を上げた。 平成26年度には県小学校教育研究会社会科部会長として授業研究や副読本の編集を推進した。平成29年度は県小学校長会副会長として小学校教育の充実に尽力した。
	よしむら たかゆき 吉村 隆之 （男） （61歳） <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">隆</div>	鯖江市北中山小学校長（H23.4～H25.3） 鯖江市鯖江東小学校長（H25.4～H28.3） 鯖江市神明小学校長（H28.4～H30.3）	越前市	永年にわたり、学校教育に情熱を注ぐとともに、数学科担当教師として研鑽に励み、多大な功績を上げた。また、生徒一人一人の自覚を高め可能性を伸ばす進路指導の充実に努めた。 平成18年度から、鯖江市教育委員会指導主事として、学校教育活動への指導助言とともに、教育行政の円滑な推進を図り、市の教育の発展に貢献した。 平成23年度からは小学校長として、長年にわたり視聴覚教育の発展に尽力し、市内視聴覚機器・環境整備や教育のICT化に大きな功績を遺した。 平成29年度は、県校長会副会長および鯖江市校長会長の要職にあり、県内の学校教育の充実・発展に努めるとともに、教育研究の推進と向上に取組み、本県学校教育の推進役として優れた手腕を発揮した。
学校教育（中学校）	おかもと やすのり 岡本 靖典 （男） （61歳）	福井市越廼中学校長（H25.4～H28.3） 福井市明道中学校長（H28.4～H30.3）	福井市	永年にわたり、常に自己研鑽を積み、中学校教育および教育行政の職務に精励し、学校教育の発展に大きく貢献した。数学科教育、生徒指導、特別活動、部活動等を通じた誠実で情熱にあふれる実践は、勤務各校の地域住民から厚い信頼を得た。 平成24年度は、県教育研究所教科研修課長として、研修講座の企画運営、県学力調査の実施と分析、研究発表会の開催等を総括し、県下教員の資質向上や小中学生の学力向上に尽力した。 平成25年度からは中学校長として学校経営に手腕を発揮し、地域活性化事業への参画、「主体的・対話的で深い学び」の推進等に貢献した。 平成28・29年度には県中学校体育連盟陸上競技部長を務め、各種大会の運営や国体を前にした競技力強化に尽力した。
	おの よしかず 小野 義一 （男） （60歳）	おおい町立名田庄小学校長（H24.4～H27.3） おおい町立大飯中学校長（H27.4～H30.3）	おおい町	永年にわたり、保健体育科教育に熱心に取り組み、児童生徒が意欲的に取り組む授業実践と保健体育担当指導主事として若手教員・中堅教員を中心に指導助言に当たり、保健体育科教育の充実・発展および教職員の指導力の向上に貢献した。 名田庄村教委派遣スポーツ主事を4年間、嶺南教育事務所指導主事8年間務め、教育行政の分野でも貢献した。 平成24年度からは、小学校長としてこれまでに培ってきた経験を活かし、不登校の未然防止対策に努力し成果を上げた。 平成27年度からは、中学校長として誠実で温かみのある指導力で、学校経営に全職員で参画する組織づくりに努め、生徒の育成と教職員の資質向上に努めた。

平成30年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主 な 経 歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育 (中学校)	くろかわ ひでゆき 黒川 秀幸 (男) (60歳)	坂井市教育委員会教育審議監(H21.4～H24.3) 坂井市立三国北小学校長(H24.4～H27.3) 坂井市立丸岡中学校長(H27.4～H30.3)	坂井市	<p>永年にわたり、確固たる教育信念を持ち誠実な教育実践を続け、学校教育の充実発展に大きな功績を残した。</p> <p>平成24年度から26年度までは坂井地区小教研算数部会長、平成27年度から29年度までは坂井地区中教研数学部会長(県数学会副会長)を務め、算数・数学教育の研究推進に尽力し、その充実発展に大きく貢献した。</p> <p>平成27年度には坂井地区中学校体育連盟会長として、坂井地区内の体育部活動の発展に尽力するとともに、平成27年度から29年度までは県中体連新体操競技部会長として本県で開催された北信越大会や全中大会を大成功に導いた。</p> <p>平成29年度は、坂井地区校長会会長として、地区内小中学校の教育振興に優れた手腕と卓越したリーダーシップを発揮した。</p>
	こぎ かずよし 小木 一良 (男) (60歳)	福井市光陽中学校長(H25.4～H27.3) 福井市明倫中学校長(H27.4～H30.3)	福井市	<p>永年にわたり、学校教育および教育行政の職務に精励し、常に教育課題と向き合い、実践的指導力を発揮して、その充実・発展に尽力した。特に、数学科教育の推進、組織的な生徒指導において大きな成果を上げた。また、平成18年度からは県教育庁義務教育課人事グループ主任として、教職員の適正な人事配置等の実現に尽力した。</p> <p>平成25年度からは、中学校長としてリーダーシップを発揮し、生徒の自尊感情を高め、確かな学力を育てた。地域とともに発展する学校づくりの成果は、地域住民からの信頼を得るとともに、県内外の教育関係者から注目された。</p> <p>平成26年度からは県中学校教育研究会数学部会長として、学習指導および評価の改善を図り、数学科教育の一層の充実に尽力した。平成29年度には県中学校教育研究会会長として、本県中学校教育の発展に貢献した。</p>
	さかい ちょうじ 酒井 長司 (男) (60歳)	福井市灯明寺中学校長(H27.4～H30.3)	福井市	<p>永年にわたり、中学校教育を中心に職務に精励し、その充実発展に貢献した。特に、数学科教育において研究と実践に積極的に取り組み、その成果を北陸四県数学教育研究大会等で発表した。また、部活動においては野球部顧問を長く務め、生徒の健全育成に努めた。平成24年度からは、県立道守高等学校定時制教頭を務め、中学校教諭の経験を生かして校内の授業力向上に尽力した。</p> <p>平成27年度からは中学校長として教職員の意識改革に取り組み、教員の授業力向上に努めた。常に保護者や地域とのつながりを大切に、保護者や地域の願いを学校教育の中で実現することを心がけて学校経営を進めた。</p> <p>平成28年度には県中学校長会進路対策部長、平成29年には県中学校長会副会長を務め、教育改革、入試制度改革が進む中、県内中学校の教育環境の向上に尽力した。</p>
	さとう ゆうじ 佐藤 裕二 (男) (61歳)	あわら市細呂木小学校長(H24.4～H26.3) 坂井市立春江中学校長(H26.4～H30.3)	坂井市	<p>永年にわたり、社会科教育で探究の過程を大切にした指導方法の工夫改善に取り組み、学校教育の充実・発展に貢献した。</p> <p>平成24年度からは小学校長として、信頼される学校の実現に向けて大きな成果を上げた。平成26年度より中学校長として坂井地区中学校教育研究会視聴覚部会長を務め、視聴覚教育の研究に取り組み、27年度は福井県視聴覚教育研究大会坂井地区大会の実行委員長として成功に導いた。また、平成29年度は坂井地区中学校教育研究会社会科部長、福井県社会科研究協議会副会長として、社会科教育の発展に貢献し、福井県社会科教育連絡協議会坂井大会実行副委員長として、大会の準備に尽力した。</p> <p>平成26年度～29年度の4年間にわたり、県中体連バスケボール競技部長を務め、平成29年度には全国中学校バスケボール大会福井大会を成功に導いた。また、平成29年度には、坂井地区中学校校長会長および福井県中学校校長会ブロック代表理事として、県内の教育の充実・発展のために寄与した。</p>
	しばた としろう 柴田 利郎 (男) (61歳)	若狭町立気山小学校長(H25.4～H28.3) 美浜町立美浜中学校長(H28.4～H30.3)	敦賀市	<p>永年にわたり、温厚な人格に加えて誠実な教育実践を続け、体育教育を中心として堅実な実践力は高く評価されている。</p> <p>平成25年度からは小学校長として児童・生徒の育成と教職員の資質の向上を目指した学校運営を行った。平成28年度からは中学校長として美浜町エネルギー環境教育推進委員会委員長を務め、エネルギー環境教育の充実を目指し、リーダーとして手腕を発揮し、その推進に大きく寄与した。また、平成28年度には美浜町人権教育研究会会長、平成29年度には福井県学校同和教育研究協議会会長として、人権教育の推進に尽力した。</p> <p>平成28、29年度には全国中学校ボート連盟副会長として、ボート競技の普及に尽力した。</p> <p>平成29年度は美浜町校長会長として町内の教育の充実・発展に努めるとともに、福井県中学校体育連盟副会長および二州地区中学校体育連盟会長として、県内の部活動の充実・発展にも貢献した。</p>

平成30年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主 な 経 歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育 (中学校)	しばた なおまさ 柴田 直昌 (男) (60歳)	鯖江市鯖江東小学校長(H23.4～H25.3) 鯖江市教育委員会教育審議官(H25.4～H28.3) 鯖江市中央中学校長(H28.4～H30.3)	鯖江市	<p>永年にわたり、学校教育および教育行政の職務に精励し、その充実発展に貢献した。</p> <p>特に、理科教育や生徒指導分野において積極的に研究実践を重ね、平成10年度から8年間にわたり、鯖江市教育委員会指導主事として鯖江市理科実験教室等を主宰して理科教育の充実発展に寄与したり、各学校へのカウンセラー配置が整備されていない時期から、市内教職員の自主的な教育相談事例研究会を開催し、市内各学校の教育相談体制の礎を築いたりした。</p> <p>また、鯖江市教育委員会学校教育課長として、長年の行政経験を生かし行政と学校現場の円滑な接続に尽力し功績を遺した。</p>
	たきぐち まさゆき 瀧口 正之 (男) (61歳)	福井市大東中学校長(H27.4～H30.3)	福井市	<p>永年にわたり、学校教育および教育行政において職務に精励し、教育の充実と発展に貢献した。特に、保健体育科教育で「わかる・できる」を重視した授業づくりに取り組み、多くの研究実践発表を行った。部活動では剣道指導で大きな成果を上げると共に、大会運営や県全体の競技力向上に尽力した。</p> <p>平成9年度からは福井市教育委員会保健給食課の体育指導主事として、学校体育、健康教育の振興に努めた。平成13年度からは県教育庁スポーツ課、全国スポレク祭準備室主任として、全国スポーツレクリエーション祭の企画運営にあたり、同祭の成功と本県の生涯スポーツの振興に貢献した。</p> <p>平成27年度からは、校長として保護者・地域住民から信頼される学校づくりに貢献した。平成27年度には福井地区中学校体育連盟会長、平成28・29年度には県中学校体育連盟会長を務め、県内中学校の体育部活動の振興に尽力した。</p>
	たぎょう ちかこ 田行 史子 (女) (61歳)	福井市国見中学校長(H25.4～H28.3) 福井市藤島中学校長(H28.4～H30.3)	福井市	<p>永年にわたり、「情熱と努力、生徒とともに」を信条として学校教育および教育行政の職務に精励し、その充実発展に貢献した。特に、保健体育科教育において、教材開発や指導方法の改善に積極的に取り組み、保健体育科教育の向上に尽力した。</p> <p>平成15年度からは県教育庁スポーツ保健課指導主事として、学校体育・学校保健の充実に取り組み、本県児童生徒の体力日本一の基礎を築いた。</p> <p>平成25年度からは中学校長として教職員を指導しながら学校経営を推進し、地域と一体となった教育活動や学力向上、部活動の活性化に大きな成果を上げた。</p> <p>平成28・29年度には、県中学校教育研究会保健体育部会長をはじめとして学校体育に係る要職に就き、本県の保健体育科教育の充実と体育部活動の振興に尽力した。</p>
	まった しんいち 松田 新一 (男) (60歳)	福井市教育委員会学校教育課長(H24.4～H26.3) 福井市進明中学校長(H26.4～H30.3)	福井市	<p>永年にわたり、学校教育および教育行政の職務に精励し、その充実発展に大きく貢献した。特に英語科教育において、指導法の改善に積極的かつ継続的に取り組み、本県英語教育の発展に寄与するとともに、英語教育のリーダーとして活躍し、平成26年度から28年度には県英語研究会副会長、29年度には同研究会会長を務めた。</p> <p>教育行政においては、福井市教育委員会学校教育課指導主事、県教育研究所教科研修課長、福井市教育委員会学校教育課長を歴任し、県内小中学校の教育力向上に尽力した。</p> <p>平成26年度からは、校長として教職員との和を大切にされた学校経営を実践し、地域との連携を推進し、成果を上げた。</p> <p>平成26・27年度には県中学校長会進路対策部長として、県内中学校の適切な進路指導の充実に尽力した。また、平成29年度には県中学校長会人事行財政対策部長を務め、県全体の教育の発展に寄与した。</p>
	よしだ まさゆき 吉田 昌幸 (男) (61歳)	敦賀市立西浦小学校長(H23.4～H26.3) 敦賀市立松陵中学校長(H26.4～H28.3) 敦賀市立気比中学校長(H28.4～H30.3)	敦賀市	<p>永年にわたり、学校教育および教育行政の職務に精励しその発展に貢献した。</p> <p>特に、教育相談および理科教育では、積極的に研究実践を重ね、小中学校勤務や県教育庁嶺南教育事務所、敦賀市教育委員会勤務を通じ、その充実に寄与した。また、歴任の学校において、へき地複式教育、NIE実践研究、理科教育、学校図書館教育、視聴覚教育の研究大会開催に指導的立場として尽力した。</p> <p>平成25年度開催の全日本中学校長会研究大会福井大会では編集副部長として、さらには平成29年度開催の東海北陸中学校長会研究大会福井大会では実行副委員長として、力量を発揮した。理科教育においては、県中学校理科教育研究会の敦賀支部長を通算6年間、県副会長を通算3年間務め、その発展に寄与した。</p>

平成30年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育 (県立学校)	おおはら りょうじ 大原 陵路 (男) (60歳)	福井県立坂井農業高等学校長(H25.4～H28.3) 福井県立坂井高等学校長(H25.11～H28.3) 福井県立福井商業高等学校長(H28.4～H30.3)	坂井市	永年にわたり、地歴・公民科の教育実践を展開し、本県の地歴・公民科教育の発展に尽力した。 平成25年度からは坂井農業高等学校長として、閉校のための業務を取り仕切るとともに、総合産業高等学校である坂井高等学校の新設に尽力した。長期のインターンシップや学力向上を図るパワーアップタイムを導入するなど、特色ある学校づくりを推進した。 平成28年度からは福井商業高等学校長として、商業教育の発展に尽力するとともに、就職・進学にむけた進路指導を強化した。県高体連会長として、運動部の振興と競技力の向上にも貢献した。
	かたおか まさひこ 片岡 雅彦 (男) (61歳)	運動公園事務所長(H26.4～H28.3) 福井県立福井南特別支援学校長(H28.4～H30.3)	福井市	永年にわたり、保健体育科の教育実践を展開し、本県の保健体育科教育の発展に尽力した。また、県民へのスポーツ医科学の普及・振興やスポーツの振興や競技力向上にも尽力した。 平成28年度からは福井南特別支援学校長として、小・中・高の学びの一貫性を重視した指導方法・支援体制を構築するなど、特別支援教育の発展に尽力した。また、卒業後の進路を見据え、特に職業教育に力を入れた。児童・生徒の清掃のスキルアップを図るとともに、テクノパークで清掃活動を行うなど、地域に密着した教育を実践した。タブレット端末を利用したICT教育を実践し、卒業後を見据えた教育を推進した。
	たけよし むつみ 竹吉 睦 (男) (60歳)	福井県立奥越明成高等学校長(H26.4.1～H28.3.31) 福井県立坂井高等学校長(H28.4.1～H30.3.31)	坂井市	永年にわたり、地歴・公民科の教育実践を展開し、本県の地歴・公民科の発展に尽力した。 平成26年度からは奥越明成高等学校長として、総合産業高校としての特色づくりと自立した社会人を育てるための職業教育を推進した。 平成28年度からは坂井高等学校長として、地域連携を推進してキャリア教育の充実を図り、地元産業を担う人材を育成するために長期のインターンシップを実施した。平成30年1月に、キャリア教育文部科学大臣表彰を受賞した。 県高等学校長協会副会長として、高等学校の教育の発展や職業教育の充実に貢献した。
	まきだ しんいち 牧田 進一 (男) (60歳)	福井県立羽水高等学校長(H27.4～H30.3)	坂井市	永年にわたり、数学科の教育実践を展開し、本県の数学科教育の発展に寄与した。特に大学進学を希望する生徒の意欲を高め、学力を向上させ、自己実現が達成できるような教科研指導を実践した。 平成27年度からは羽水高等学校長として、生徒が志望する進路を実現できるよう、進学指導体制の構築に尽力した。また、OECD日本イノベーションスクールネットワークに参加し、福井市役所と連携して地域の課題解決を提案したり、遠隔授業システムで香港の学校との交流を開始するなど、生徒が自ら学ぶ力を付ける教育を実践した。 平成27年度から県高等学校文化連盟会長を3年間務め、文化部の振興・発展に寄与した。また、平成29年度から県高等学校長協会副会長として、高等学校の教育の充実・発展に貢献した。
	よしだ やえこ 吉田 弥恵子 (女) (61歳)	福井県立福井特支特別支援学校長(H27.4～H30.3)	越前市	永年にわたり、特別支援教育に携わり、本県特別支援教育の発展に寄与した。障害をもつ児童・生徒の生活指導や児童の特性に応じた自立活動に成果を発揮した。また、特別支援学校のセンター的機能の開発を推進した。 平成25年度からは、県教育庁高校教育課参事(特別支援教育)として、本県の特別支援教育の充実・発展に尽力した。 平成27年度からは、福井特別支援学校長として指導力を発揮し、肢体不自由児の自立をめざす教育を推進した。平成29年度には、中部地区肢体不自由教育特別支援学校長会会長および全国肢体不自由教育特別支援学校長会副会長を務め、中部地区肢体不自由教育特別支援学校研究協議会「福井大会」を開催するなど、肢体不自由に係る教育の推進・発展に貢献した。

平成30年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主 な 経 歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育 (県立学校)	<p>わただ ひろし 和多田 裕 (男) (60歳)</p>	福井県立清水特別支援学校長(H27.4～H30.3)	福井市	<p>永年にわたり、特別支援教育に携わり、肢体不自由や知的障害をもつ重複障害児の実践研究を継続的に行い、本県特別支援教育の発展に寄与した。</p> <p>平成27年度からは清水特別支援学校長として、校内の研究体制を強化し、実践する体制を整えた。また、地域との交流を積極的に行い、地域の相談に丁寧に対応するなど、地域に密着する学校をめざした。</p> <p>県高等学校長協会副会長・県特別支援学校長会会長として、特別支援教育の充実・発展に寄与した。また、県共生社会条例の策定にも関与した。</p>
学校教育 (部活動)	<p>うえさか まさる 上坂 優 (男) (58歳)</p>	<p>福井県立福井農林高等学校 郷土伝統芸能部 指導者(H13～現在)</p> <p>福井県立勝山高等学校 日本文化部 指導者(H19～現在)</p>	越前町	<p>平成8年から県内の多くの学校で和太鼓の作曲指導や技術指導を行い、文化部活動の振興発展に寄与した。</p> <p>氏が指導をしている高等学校が全国高等学校総合文化祭に出場。同文化祭において、平成15年に福井農林高等学校を文化庁長官賞に、平成19年に福井農林高等学校と勝山高等学校の合同チームを文部科学大臣賞に、平成28年に福井農林高等学校を文部科学大臣賞に導いた。また、同年に行われた全国高校生太鼓甲子園で勝山高等学校を最優秀賞に導くなど優れた功績を収めた。</p>
社会教育	<p>うへの しげたか 上野 重隆 (男) (56歳)</p>	<p>福井県子ども会育成連合会理事(H16.4～H24.3)</p> <p>福井県子ども会育成連合会副会長(H24.4～現在)</p>	越前町	<p>平成16年から福井県子ども会育成連合会の理事、副会長として、長年にわたり全県の立場で子ども会活動の振興や事業の推進に大きな功績をあげている。若手リーダーの育成や地区育成懇談会の充実にも尽力し、青少年の健全育成に積極的に取り組んでいる。</p>
	<p>たむら ようこ 田村 洋子 (女) (69歳)</p>	<p>福井県連合婦人会理事(H19.4～H22.3)</p> <p>福井県連合婦人会会計(H22.4～H23.3)</p> <p>福井県連合婦人会副会長(H23.4～H24.3)</p> <p>福井県連合婦人会会長(H24.4～現在)</p>	福井市	<p>平成19年から福井県連合婦人会の理事、会計、副会長を務め、平成24年に会長に就任。組織の充実・強化や事業の発展に献身的に取り組み、女性教育の振興に力を注いでいる。「おいしいふくい食べきり運動」に県と協力して取り組み、幅広い世代への啓発活動を行っている。</p>
	<p>とくもと たつゆき 徳本 達之 (男) (59歳)</p> <p style="font-size: 2em; margin-top: 20px;">徳</p>	<p>敦賀市社会教育委員(H12.6～現在)</p> <p>敦賀市社会教育委員の会委員長(H22.6～現在)</p>	敦賀市	<p>平成12年に敦賀市社会教育委員となり、平成22年には委員長に選出された。社会教育に関する研究や提案を行い、その実現に向けて積極的に行動するなど、多大な貢献を果たした。平成27年には、福井県社会教育委員連絡協議会会長に就任し、県全体の社会教育の充実にも尽力している。</p>

平成30年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主 な 経 歴	住 所	功 績 の 概 要
社会教育	はしづめ たけし 橋詰 武 (男) (80歳)	日本海洋少年団福井県連盟事務局長 (S45.4～現在) 日本海洋少年団福井県連盟理事兼事務局長 (H13.4～H26.3,H28.4～現在)	敦賀市	日本海洋少年団福井県連盟理事兼事務局長として、事業を企画し、各団との連携を図るなど、長年にわたり活動を支え、連盟の振興発展に多大な功績をあげている。定期的に行っている団員の訓練にも、他の指導員と一緒に積極的に参加し、団員の育成に尽力している。
保健体育	たなか ひでこ 田中 秀子 (女) (80歳)	福井県なぎなた連盟副会長(S60.4～H.3.3) 福井県なぎなた連盟会長(H3.4～現在)	福井市	昭和60年から福井県なぎなた連盟副会長、平成3年から現在まで会長を務め、県連盟の発展に尽力している。子どもから高齢者まで幅広い年齢層に多くの会員を育成するとともに、平成11年ねりんピック福井なぎなた大会、平成25年エンジョイ全国なぎなた大会、平成29年都道府県対抗なぎなた大会などの全国大会を開催するなど、なぎなた競技の普及発展、競技力向上に努めてきた。 平成30年福井しあわせ元気国体では、成年女子演技、少年女子演技・試合の3種目で優勝し、競技別天皇杯、皇后杯ともに2位となり、福井県の総合優勝に大きく貢献した。
	てらたに よしひろ 寺谷 義博 (男) (66歳)	福井県卓球協会理事(S59.4～H2.3) 福井県卓球協会常任理事(H2.4～H8.3) 福井県卓球協会副理事長(H8.4～H26.3) 福井県卓球協会理事長(H26.4～H28.3) 福井県卓球協会副会長(H28.4～現在)	福井市	昭和59年に福井県卓球協会理事に就任以来、副理事長、理事長を歴任し、現在は副会長として県協会の発展に尽力している。平成29年全国高等学校選抜卓球大会などの全国大会を開催するなど、卓球競技の普及発展、競技力向上に努めてきた。 平成30年福井しあわせ元気国体では、成年女子団体が優勝、少年女子団体が3位入賞を果たし、競技別皇后杯を獲得し、福井県の総合優勝に大きく貢献した。さらに、福井しあわせ元気大会の卓球競技の運営にも尽力し、国体・障スポの成功に大きく貢献した。